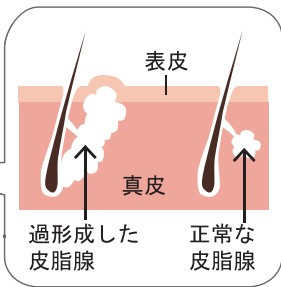
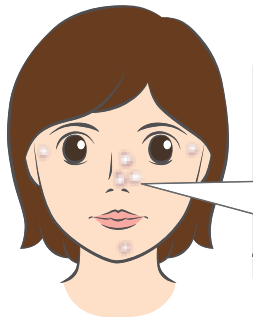


脂腺増殖症の症状



ニキビ様のポツポツが顔にできて、なかなか治らないことがあります。この症状について日本皮膚科学会認定皮膚科専門医で立川皮膚科クリニック院長の伊東秀記先生に聞きました。

「顔、鼻などに2mm〜6mm程度の黄色または白っぽい丘疹(きゅうしん)ができて、化膿したり痛みを伴うことがあります。少ずつ大きくなること、脂腺増殖症の疑いがあります」

「原因は？」

「毛穴の周辺の皮脂腺が、過剰が増えて(過形成)、表皮を持ち上げることでより起きる症状です。体質や加齢によって

皮膚のターンオーバーが遅くなるのが原因の一つと考えられています。詳しい原因はわかっていません。ステロイド剤を長期に使用した人や免疫抑制剤などを服用した人は発症しやすいことがわかっています。ニキビ様の発疹が半年以上そのままの状態であれば、この疾患が疑われます」

「治療方法は？」

「良性の丘疹なので放置しても問題ありません。ただ、自然に消えることはなく、数年かけて徐々に大きくなります。見た目が気になる人には、過形成した皮脂腺をパンチメスで切除する手術を行います。患部が浅い場合はレーザー治療も可能です(1mm3000円・自由診療)。気になる人は、皮膚科の医師に相談を」

院長:伊東秀記
日本皮膚科学会認定皮膚科専門医、東京慈恵会医科大学医学部卒業、東京慈恵会医科大学皮膚科非常勤講師



休診日: 日曜、祝日

診療受付時間	月	火	水	木	金	土
9:30~13:30	○	○	○	○	12:30まで受け付け	○
15:00~19:30	○	○	○	○	18:30まで受け付け	17:30まで受け付け

2018年3月17日付 「リビング多摩」に掲載されました